

II.4. 大阪大学言語文化学会

○言語文化学会活動

2025（令和7）年6月26日（木）大阪大学言語文化学会第66回大会

<研究発表>

LEE Joongchan 「Sincerity or Hypocrisy? - The Bipolarisation of Generative Memory in Kazuo

Ishiguro's *An Artist of the Floating World*」

程 安峰 「『惜別』の小手調べとしての「竹青」——近代日本の支那学と太宰治の中国認識から再考察」

王 静怡 「日本語学習者と母語話者の語彙使用における文体的特徴の比較—日本語学習者コーパス I-JAS を用いて—」

李 天祥 「『鬼畜／音 MAD』論争の果て—混乱した概念の整理と新たな分類枠組みの提案—」

<特別公開講演>

秋廣 尚恵先生（東京外国語大学大学院総合国際学研究院）

「フランス語における同意のマーカの使用：日本語母語学習者の習得と課題」

2025（令和7）年10月23日（木）大阪大学言語文化学会第67回大会

<研究発表>

李 依格 「話し言葉における否定ていねい形の選択メカニズム—一般化線形混合モデルによる検討—」

陳 紫薇 「中国語の談話構成原理についての一考察——メンタルスペース理論の観点から——」

東浦 可奈 「BL マンガにおける階級社会と妊娠する男性の分析—『SEX PISTOLS』および「オメガバース」を中心に—」

<招聘研究発表>

藤田 郁先生（九州大学大学院システム情報科学研究院）

「計量的手法を用いた *Poems by Two Brothers* (1827/1893) の著者識別」

<総会>

1. 2025 年度役員・委員

【役員】会長：里内克巳、副会長：越智正男

監事：中畠浩貴、平山晃司

【教員委員】委員長：西出佳詩子、副委員長：渡辺貴規子

会計委員：黄晨縵

教員委員（企画・編集委員を兼務）：覚知頌春、杉本侑嗣、

高橋克欣、平山晃司、黄晨縵（事務局担当）

【院生委員】池田大晃、王嘉浩、財津愛、野村悠、Gay I Avellanet Anna

2. 2024 年度活動報告

3. 2024 年度会計報告

4. 2025 年度予算案

5. 2025 年度活動

6. 会員数

7. その他

2026（令和 8）年 3 月 31 日『言語文化学』第 35 巻発行

<査読者>

井元秀剛、岡田悠佑、金澤佑、北井聡子、木原善彦、木本幸憲、小薬哲哉、
小杉世、佐高春音、佐藤彰、里内克巳、鈴木大介、田中智行、田村幸誠、
津田保夫、中村綾乃、西田理恵子、林千宏、バルカ コランタン、八木堅二、
山本武史、ヤン ムイ、リー シーチェン ナンシー、劉囂

○『言語文化学』第 35 巻（2026）目次

論文

- ・空間認知の枠組みを用いた感情表現の考察—ベトナム語 *thuong* における視点の選択
.....ドアン ゴク ミン トラン
- ・中国語を母語とする日本語学習者の日本語学術共通漢字語彙の意味推測—L2 習熟度に着
目して—
.....呂 倬紉
- ・中国語・英語母語話者による日本語フィラー使用の比較分析
.....龍 思好
- ・取り立て否定形式「V はしない」の性質と用法

.....山倉佐恵子
・「VP + きる」の意味と語形成－「VP + 補助動詞」型複合動詞の分析に向けて－

.....張 栩
・ Étude perceptive auprès de locuteurs natifs : quels indices prosodiques distinguent interrogatif et continuatif en français?

..... JIANG Qing
研究ノート

・「鬼畜/音 MAD」論争の再考－概念整理と分類枠組みの構築に向けて－
.....李 天祥